

1. 将来に向けた津島市のまちづくり戦略について（将来の土地利用の方向性）

○これから10年先の将来都市構造について

人口の減少局面や災害の激甚化のなかでも、人のライフスタイルにゆとりと便利を与え、市民にとって住みやすいまちとなるよう、「新たな津島市」の将来像を下図の「**将来都市構造図**」に示します。

広域から鉄道や幹線道路により本市にアクセスする地域を「**玄関**」として位置づけ、市内の総生産を高めるため市民に暮らしやすく、また産業や観光をより広域的な交流へつなげる、まちづくりを推進していきます。

都市拠点

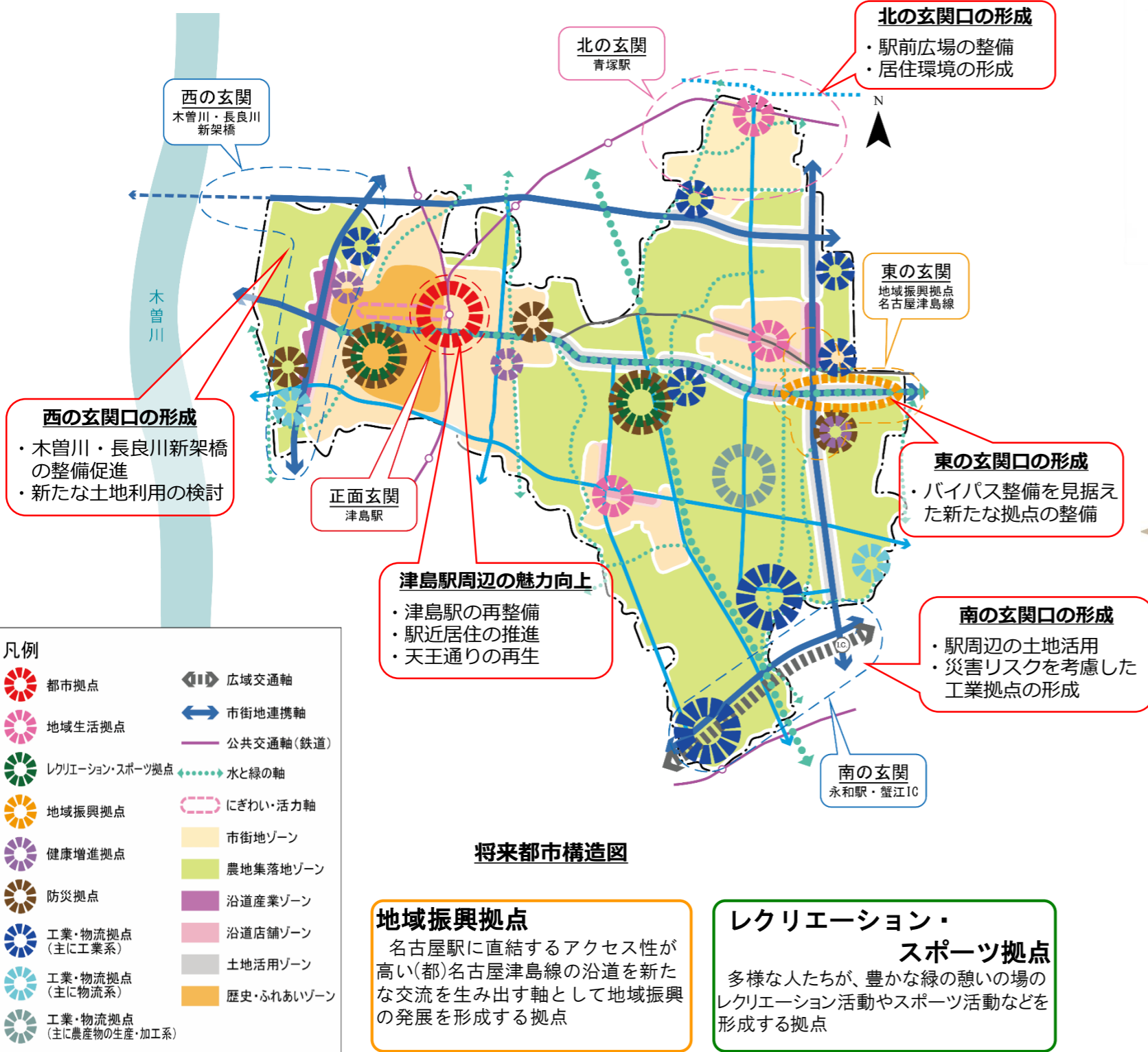
本市の正面玄関として、土地の高度利用を促進しつつ商業、業務、医療などの都市機能が充実した、都市の中心として活力あるまちなかを形成する拠点

地域生活拠点

地域の日常生活を支える身近な都市機能などが充実した、暮らしやすいまちなかを形成する拠点

防災拠点

災害時には対策本部設置や県内外からの応援部隊・資機材などの集結・集積活動拠点、平常時には防災訓練などの活動に資する拠点



○代表する玄関口の土地利用イメージについて（正面・北・東の玄関）

